

平成16年度青森産業保健推進センター内部業務評価について



三田 禮 造

青森産業保健推進センター産業医学担当相談員
青森産業保健推進センター評価担当相談員代表
秋田看護福祉大学看護福祉学部長・教授

【評価の実施】

評価は平成16年4月1日に独立行政法人労働者健康福祉機構が示した中期目標・中期計画を基に機構本部が定めた評価指標に対して、センターで策定した平成16年度事業計画項目に従い、産業保健モニター調査結果及び受講者からのアンケート結果等を踏まえ、事業実施実績を項目毎に評価を行ったものである。

【事業実績の概要】

1. 研 修

対 象	計画回数	実績回数	受講者数	アンケート満足度(目標80%)
産 業 医	9	8	179	78.1%
産業看護職	10	10	255	82.4%
衛生管理担当	21	21	927	91.1%
計	40	37	1,361	83.3%

2. 事業主セミナー

計画回数	実績回数	参加者数
15	15	3,036

3. 相談件数

目安(60件)	産 業 医	産業看護職	労務担当者等	そ の 他	計
実 績	23件	18件	40件	18件	99件

4. 図書等貸出し

計画(1,132件)	産 業 医	産業看護職	労務担当者等	そ の 他	計
実 績	80件	40件	1,053件	118件	1,291件

5. 助成全事業

(1)産 業 医 共 同 選 任 事 業	新規申請事業場目安数15事業場	実績12事業場
(2)自発的健康診断受診支援事業	目標申請件数40件	実績36件

6. 産業保健モニター調査結果 (%)

	よ い	まあまあよい	どちらともいえない	少 し 悪 い	悪 い
(1)研修について	44.9	37.8	15.3	2	0
(2)情報の提供について	48.6	35.7	12.9	2.8	0
(3)相談について	30	35	25	5	5
計	43.3	36.5	16.3	2.9	1

【評価の結果】

評価は76の少項目をA：適切かつ着実な状況、B：概ね適切な状況、C：業務改善が必要な状況の3段階で行い、6つの大項目の結果は右のとおりであった。

項 目	評 価
1. 産業保健業務に従事する者への研修の実施等	A
2. 産業保健業務に関する相談	A
3. 産業保健に関する情報の収集及び提供	A
4. 地域産業保健センターに対する支援	A
5. 事業主に対する広報及び啓発	A
6. 助成全の支給業務	B

今回は、一定の形式に従い業務内容の評価を行ったことにより、問題点を具体的かつ明確にすることが出来たと思われる。

総括すると、青森産業保健推進センターは開所3年目という短期間ではあるが、いくつかの点で問題を残してはいるが、一定の成果を上げるだけの活動をしてきたとの印象を受けた。

今後は益々強まるであろう社会の厳しい目に対し、自信を持って応えられる活動を展開する努力が更に要求されるであろう。